風光る

令和８年度
岩国西中学校
第299号
令和8年11月19日(木)

未来を生き抜く生徒の育成　～互いにつながり、伸びる学校をめざして～

16人で紡いだもの

校長　林　隆之

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じる季節となりました。10月、本校では西中祭を開催しました。今年のスローガンは「16人の心の色で紡ぐカタチ」。作品展示、群読、全校合唱を通して、生徒たちは一人ひとりの個性を生かしながら、一つのものを創り上げる喜びを体現してくれました。また、全校合唱「涙をこえて」は、岩国市・和木町中学校合唱祭でも披露し、大きな舞台で堂々と歌い上げる姿に、生徒たちの成長を感じることができました。

私はこうした生徒たちの姿を見るたびに、「学校の価値は規模の大小だけでは測れない」ということを改めて感じます。そこで思い浮かぶのが「多寡（たか）」という言葉です。多寡とは、物事の多い少ないを表す言葉です。私たちは時として、人数や規模の大きさによって物事の価値を判断しがちです。しかし、教育において本当に大切なのは、多さではなく、その場にいる一人ひとりがどれだけ主体的に関わり、成長しているかではないでしょうか。

本校では、生徒一人の存在が学校全体に与える影響が決して小さくありません。一人の頑張りが仲間の励みとなり、一人の挑戦が周囲に勇気を与えます。また、一人の変化や成長をみんなで喜ぶことができます。16人という規模だからこそ、お互いをよく知り、支え合いながら学校生活を送ることができるのです。

西中祭や合唱祭で見られたのも、まさにその姿でした。群読も合唱も、一人では完成しません。それぞれの個性や力を持ち寄り、互いを認め合いながら一つの目標に向かって取り組むことで、大きな成果が生まれます。生徒たちはこの経験を通して、多くのことを学んでくれたことと思います。

11月は、今年度後半へ向けて歩みを進める大切な時期です。これらの行事で得た経験や自信をこれからの学校生活につなげ、一人ひとりがさらに成長してくれることを期待しています。



西中祭での「群読」の様子

岩国市･和木町中学校合唱祭



11月5日(木)、シンフォニア岩国で岩国市・和木町中学校合唱祭が行われました。本校は、全校生徒16人で「涙をこえて」を熱唱し、審査員の先生から、並び方の工夫やバランスのとれた美しいハーモニーを褒めていただきました。生徒たちは、大ホールに最高の歌声を響かせることができて、大満足の様子でした。

12月の行事予定

12月 1日(火)　朝礼
　　子どもと大人のディスカション
12月 4日(金)　生徒会役員選挙
12月 7日(月)　放課後学習会
12月 8日(火)　あいさつ運動
12月 9日(水)　家庭教育講座
12月14日(月)　放課後学習会
12月17日(木)　学校保健安全委員会
12月22日(火)・23日(水)　個人懇談
12月24日(木)　終業式
12月25日(金)　公務納め

第29回 西中祭　スローガン「16人の心の色で紡ぐカタチ」

10月31日に開催した西中祭では、作品展示をはじめ、群読や合唱などの発表を行いました。スローガンのとおり、一人ひとりの個性や思いを大切にしながら、16人のカを合わせて西中祭をつくり上げました。展示作品では、生徒たちの創意工夫や日頃の学習の成果を、多くの方々にご覧いただきました。また、全校合唱や今年初めて挑戦した群読では、仲間と心を一つにして表現する姿が見られ、会場に感動を届けることができました。さらに、スペシャルゲストによるミニコンサートでは、美しい音楽に触れ、特別な時間を共有することができました。この西中祭を通して、生徒全員が、一人ひとりの「心の色」が重なり合い、かけがえのない「カタチ」となった喜びを、実感できたことと思います。

ご来場いただいた皆様、最後までご覧いただき、また後片付けもお手伝いいただき、誠にありがとうございました。













菜の花の種まきを地域の方と

10月21日(水)、１年生が、南河内むらづくり塾の皆様と一緒に、線路沿いの斜面に菜の花の種と肥料をまきました。春の見事な景色は、地域の方のご尽力によるものだったと知り、改めて感謝の気持ちを抱くとともに、来春の開花が今から楽しみになりました。




3年生 乳幼児ふれあい体験

11月10日(火)、家庭科で保育を学んでいる３年生が、北河内認定こども園で、乳幼児ふれあい体験をさせていただきました。自作のおもちゃで年少組の幼児と遊び、そのかわいさを実感するとともに、先生方の目配り、声かけにも感心した様子でした。




親子地域ふれあい交流会




11月14日(土)、保護者・地域の皆様と、スポーツを通して交流を深める「親子地域ふれあい交流会」を行いました。今年は、今はやりのピックルボールをするグループと、パターdeビンゴとモルックの2種目を体験できるグループに分かれて行いました。ピックルボールは、学校運営協議会委員で体育教師の長井様にご指導いただき、みんなすぐにラリーが続くようになっていました。パターdeビンゴ・モルックは、3名の岩国市スポーツ推進員の方にご指導いただき、試合をして楽しみました。合わせて17名もの保護者・地域の方にご参加いただき、世代を超えた交流の輪が広がる心温まる時間となりました。ご指導くださった講師の皆様、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。